

平成25年度第1回花巻市博物館協議会 顛末

日時 平成25年7月3日(水) 午後3時～午後4時30分

場所 花巻市博物館 講座体験学習室

出席者

花巻市博物館協議会委員(9名)

- 上野 秀雄(矢沢小学校長)
- 平賀 喜代美(花巻市地域婦人団体協議会)
- 高橋 久(花巻市文化財保護審議会委員)
- 中島 健次(花巻市文化団体連絡協議会会長)
- 佐藤 脩(花巻史談会副会長)
- 佐藤 由紀男(岩手大学教育学部教授)
- 浅沼 昭男(大迫山岳会副会長)
- 佐々木 さつき(八重畑小学校学習アドバイザー)
- 平野 榮一(東和地区教育振興運動実践協議会会長)

市側(7名)

- 高橋 信雄(花巻市博物館館長)
- 菊地 邦雄(石鳥谷歴史民俗資料館館長)
- 藤原 信悦(花巻市博物館副館長)
- 中村 萬敬(東和ふるさと歴史資料館事務長)
- 酒井 宗孝(花巻市博物館上席副主幹)
- 伊藤 順子(花巻市博物館副主幹)
- 照井 弘道(花巻市博物館上席主査)

次 第

会議成立報告

1 開 会 藤原副館長

2 挨拶 花巻市博物館館長

お忙しいなか花巻市博物館協議会に出席いただきましてありがとうございます。

当博物館は平成16年4月開館で、今年で9年目を迎えました。

また、合併に伴いまして平成19年度より花巻歴史民俗資料館、早池峰山岳博物館、石鳥谷歴史民俗資料館、東和ふるさと歴史資料館の4館を分館として運営してきました。一元化を図ってきましたが、その後、早池峰山岳博物館につきましては、花巻市総合文化財センターへ資料を移管という新たなかたちに進んでいますし、花巻歴史民俗資料館も今年の3月31日をもって閉館となり、5月15日に高村光太郎記念館という新たなかたちでスタートいたしました。

今年度は、花巻市博物館、石鳥谷歴史民俗資料館、東和ふるさと歴史資料館の本館、分館3館でスタートしました。その中で4月に東和ふるさと歴史資料館の瀬川館長が逝去しました。その後、博物館事業は瀬川館長の館長講話以外は予定どおり進められています。

昨年、花巻市博物館は「吉村作治の古代七つの文明展」という大きな展示会を開催いたしまして、市内外の方々に花巻市博物館をPRできたと思っております。

今年度は、昨年の「吉村作治の古代七つの文明展」と違うジャンルで、主に子供たちを対象として前回とは違う人たちにアピールをする展示会の「藤城清治 光りのファンタジー」を9月7日から11月17日にかけて開催をする予定で計画を進めております。

ただ今は、多田等観の資料を展示しておりますが、今回は、多田等観が観音山に居たときの資料を中心に展示しております。また、高村光太郎との交流の資料も展示しております。

当博物館は来年、開館から10年を迎えます。市民に開かれた博物館を目指して活動をしていきたいと思っております。皆様方のご意見をいただき、出来るだけ、開かれた博物館に近いものにしていきたいのでどう

かよろしく申し上げます。

藤原副館長 それでは、次第にしたがって進行させていただきます。これより、議事に入らせていただきます。

3 議事

・議長

それでは、ただ今から平成25年度の第1回の花巻市博物館協議会を始めます。昨年度は「吉村作治の古代七つの文明展」が盛大に開催され盛況に終わりまして、嬉しく思っております。今年、多田等観展の後、「北斎漫画展」そして「藤城清治展」と注目される展示会が続くという事で、多くの方々に来館して見学していただけるのではないのかと思っております。「北斎漫画展」、「藤城清治展」とも、美術館で開催されるような展示会を博物館で開催するという意義は大きいと思います。本日の議題は、平成24年度事業報告と平成25年度の事業計画についてであります。その後、ただ今開催中の「観音山の等観さんと呼ばれるまで」を見学する予定です。ただ今から議事に入らせていただきます。最初に「平成24年度事業報告について」です。それでは、事務局申し上げます。

議事(1)「平成24年度事業報告について」を議題とする。

酒井副主幹、菊地館長、中村副館長が24年度事業報告により説明

・議長

質疑応答に入ります。

・中島委員

「蔵出しお宝展」について、所蔵している資料の展示のローテーションについて、基準を教えてください。

・酒井副主幹

開館して9年目ですので、展示に耐えうる資料につきましては、ほぼ1回は展示しております。これはすごいという資料が見たいという要望があるので昨年度より貴重な資料を展示しております。また、今後も工夫しながら展示していきたいと考えています。

・佐藤脩委員

先般、東和ふるさと歴史資料館の瀬川館長が逝去された。瀬川館長の研究資料についてまとめていくことと聞いていますが、どのようになるのか教えていただきたい。

・中村事務長

職員体制が厳しく計画の事業をこなすので精一杯なので今はできないが、来年度以降に、著作物等をまとめて出すことを検討しております。

・佐藤脩委員

花巻の歴史の研究家の方々に、亡くなられた熊谷章一さん、鎌田辰夫さん、佐藤昭孝さんや瀬川先生など、また嶋二郎さんなどの研究された成果など、それぞれお家にしまっていると思いますが、その方々は花巻史談会の会員でありまして、さらに、花巻市史を編纂された経緯もございます。私どももご遺族の方々にお会いしてご教授いただく所存ですが、限界がありますので、博物館の協力があればスムーズに進むと思っております。そのところをよろしくお願ひしたい。

・高橋館長

今後、そういう方々の顕彰も出てくると思います。実は、嶋二郎さんの資料については、盛岡大学におられた大矢先生の所に全部ありまして、明日、大矢先生のご自宅に参りまして調査する予定です。大矢さんの意向でもありますが、全資料を博物館に持ってくるようになると思います。ということで、嶋二郎さんの資料については現在進行しております。そのほかで、私どもの手に入る資料があるのなら収集保管を進めていきたいと思っております。

・高橋委員

花巻歴史民俗資料館の資料についてはどうなっておりますか。全部、持ってくるのですか。また、高村光太郎記念館の入館者はどうなっておりますか。

・佐藤課長

花巻歴史民俗資料館の資料につきましては、現在、花巻歴史民俗資料館の収蔵庫に置いてありますし、一部は花巻市博物館に持ってきております。今後、どのようなかたちで資料を移すか検討しております。入館者数については、昨年度につきましては、資料にありますように3,539名でありました。高村光太郎記念館は5月15日から開館いたしました。こちらで取り寄せた資料では、5月が1,736人、6月が1,938人、合わせて2ヶ月で3,674人で、2ヶ月で、花巻歴史民俗資料館の昨年1年間の入館者を越えたという状況です。

・酒井副主幹

付け足します。博物館に移管した資料の中で、こけし類は期間展示コーナーで5月に展示

しました。今後も展示に活用してまいります。

- ・浅沼委員 寄贈資料の中に、多田等観の資料がありますが、佐藤文子さんから189点の寄贈の内容を教えてください。
- ・酒井副主幹 「書」等で、今回の展示会にも展示しています。
- ・高橋館長 寄贈された資料には等観の書が多くありまして、現在展示しています。
- ・酒井副主幹 文子さんは6月に亡くなりました。
- ・佐藤脩委員 博物館資料の収蔵目録はありますか。
- ・酒井副主幹 今はデータで管理していて、印刷すれば資料目録となりますが、現在はまだ登録作業を進行中ですので、今すぐ印刷する予定はありません。
- ・佐藤脩委員 活用したいのでよろしくお願ひしたい。
- ・平賀委員 ふるさとパスポートはどの程度活用されているのか教えてください。
- ・酒井副主幹 資料の15ページをご覧ください。博物館について載っています。市内全小中学生から見れば多い数字にはなっていませんが、すごく活用されている人もおります。
- ・平賀委員 是非、小中学生に来てもらいたいと願っておりますので、PRしながら利用増をお願ひします。
- ・議長 特に無ければ24年度報告を終了し、25年度計画について説明をお願いします。

議事(2)「平成25年度事業計画について」を議題とする。

酒井副主幹、菊地館長、中村副館長が25年度事業計画により説明

- ・佐藤議長 質問意見をお願いします。
- ・佐々木委員 北斎漫画展を楽しみにしています。浮世絵の実演会、体験会は有料でしょうか。
- ・酒井副主幹 無料です。
- ・佐々木委員 皆さんにPRします。
- ・平賀委員 石鳥谷歴史民俗資料館について、24年度は事業が沢山あったのに25年度は少ないので残念です。
- ・菊地館長 当館は展示している資料しかなく収蔵している資料が少なく展示会にはみんな借りて開催しているので、調査研究と借受に労力がかかることと、職員が減ったことでできなくなりました。
- ・佐藤脩委員 博物館の事業は多くあるのですが、高橋館長が話された、市民に開かれた博物館として、市民に馴染みのある方を取り上げてほしい。来年10周年なので、北松斎公を是非取り上げた企画の検討をお願いしたい。
- ・高橋館長 ごもったもなお話です。花巻市博物館と北松斎は離れられない関係ですが、去年400年祭をやっているので、今すぐとはなかなか成り難いので、しっかりと調査研究をした上で展示会を進めるという方向性で考えています。昨年、400年でやったものを展示するのではなく、新たな切り口を考えながら調査研究をしっかりと行っていきたいと思っております。
- ・浅沼委員 縄文時代についてお聞きしたい。2点ありまして、1点は大迫中学校の土偶に関係した講師依頼があったということですが、どのような内容でしょうか。2点目は東和ふるさと歴史資料館の郷土史講座の「縄文時代遺跡を学ぶ」の対象地域はどこあたりでしょうか。
- ・酒井副主幹 1年生38人を対象に総合文化財センターで行います。文化財センターには土偶が沢山展示してあります。これを見ながら、自分たちでも土偶を作るという企画です。
- ・中村事務長 縄文時代遺跡を学ぶでは、全県を対象にしておりますが、主に中央部についての講演会を行う予定です。
- ・浅沼委員 中央部とは花巻が中心ですか。
- ・中村事務長 県南も含みます。
- ・平野委員 博物館、石鳥谷歴史民俗資料館はふるさとパスポートでの入館者は比較的多いが、東和ふるさと歴史資料館は少ない。東和小学校の子が、わざわざ、石鳥谷歴史民俗資料館に行っているのは、受け入れ態勢が問題なのか、学校とどういう連携を図っているの教えてください。
- ・中村事務長 東和ふるさと歴史資料館のふるさとパスポート利用について、小中2校になってしまった。以前は出前講座をしていたが、出向く機会が少なくなったので今後、博学連携をもっと進めたい。

- ・佐藤議長 私から質問です。東和ふるさと歴史資料館の春季の展示会の内容が変わったのはどういう訳か。
- ・中村事務長 担当者が内容を検討している中でテーマが変わってしまった。民具の中の器になった。
- ・佐藤議長 特別な事情のために変更になったのなら仕方がないが、印刷物にしたのだからテーマの名前を変えるのは極めて拙いと思います。意見ですが、今後はこのような事がないほうがいいです。展示の内容が変わったのではなくテーマが変わったのは気をつけてほしい。
- ・中村事務長 今後、このような事が無いようにいたします。
- ・佐々木委員 平成26年度の10周年の企画について聞きたい。
- ・高橋館長 今、検討中で、考えているのは、花巻人形を中心に「人形とは何か」ということで考えていきたい。他の館でやられていないテーマで、たとえば、土偶や埴輪から現在の人形という流れの中で花巻人形を浮き彫りにして、子供から大人までを対象にした人形の歴史を考えていくという企画を考えています。
- ・上野委員 学校では、博物館を出来るだけ利用するようにしているが、なかなか進まない。先月、矢沢小学校のPTAの親子行事で勾玉作りをやりました。博・学連携の中でも博物館の利用を進められているのですが、どういう場面でこんなところが利用できるという事をPRしてはどうか。ホームページも含めて、博物館はこういうことが利用できるというのをアピールしていけば、利用のきっかけになると思う。ふるさとパスポートについては、親が興味のあるものに子供をつれていくので、親に対して啓蒙が大事だと思います。
- ・佐藤議長 意見ですね
- ・酒井副主幹 そのとおりです。学校の先生も生徒も大変忙しいので負担になっているように思うのですが、博・学連携研究委員会で、どんなことでも相談に乗りますと話をした。そうしたら、今、戦国時代を勉強しているが甲冑などを着させてくれないかという話がされました。そこで、石鳥谷小学校で甲冑体験を行いました。また、小学校で昔の暮らしという授業がありますが、テーマを絞って、どこからどこまでと区切ってもらえれば、対応がしやすいので学習内容といっしょに協議していきたい。遠慮なく相談していただきたい。
- ・佐藤課長 文化財について、まず知る、そして生かすということが大事とっております。対応できることについては、校長会議等を通してご紹介させていただく。ふるさとパスポートのPRを図りながら、まずは、知ってもらう。そしてやってみて子供たちが文化財についての興味を持っていただきたい。まずはご相談いただければ対応をいたしますので、よろしく願います。
- ・平野委員 関連するが、親の方へのPRにひと工夫すれば利用が上向くのではないか。ひとつは、市P連の大会とか、どこかの学校PTA総会に行ってみるとか、親への商業的な何かがあればいいのではないですか。
- ・佐藤課長 まなびキャンパスカード(ふるさとパスポート)として市の事業の一環として進めている。どんどん使ってもらいたい。これを活用して博物館だけではなく他の施設を利用してもらいたい。文化財に興味をもってもらい、文化財を守るという意識をもってもらいたくために進めていきたい。
- ・佐藤議長 ほかにありませんか。なければ、私からひとつ。24年度研究紀要の内容が2人だけということですが、博物館の活動の基礎的なことは資料収集研究活動です。市民の見るところは展示活動とか展示教育普及活動というところですが、10年たつと市民に見られる展示活動に軸足が移り、研究活動が疎かになっていくのが他で見られる現象です。こちらの博物館はどうか分かりませんが、新しい学芸員も入ってきて、新しいことを始めたという事は大変いいことですが、事業を減らさないで、増やしているのはいいことなのですが、ただ、調査研究を忘れないで、事業を進めてもらいたい。研究活動と収蔵資料の収集というのが大事です。当館と同じような規模の博物館を見ていると10年15年というあたりからそこらが疎かになっているところが多い。学芸員が変わったためにそこが弱くなってしまったりしないように、考えてほしい。今後も長く研究活動が続けられるようお願いしたい。私からの意見です。
ほかに無ければこれにて、25年度計画について終了します。
その他ありませんか。

その他特になしということで議事を終了します。
各委員におきましては、活発な意見をありがとうございました。

4 その他 藤原副館長

4 その他ございますか。
委員、事務局とも特になしで終了します。

5 閉会 藤原副館長

熱心に審議していただきましてありがとうございます。
本日は大変ご苦労さまでした。これにて平成25年度第1回花巻市博物館協議会を終了いたします。